

学校教育目標

『確かな学力』と『豊かな心』をもって、たくましく生きる子どもの育成

校内研修の充実

授業の質を高める・落ち着いた学校環境をつくる

開かれた学校づくり

学校・家庭・地域が一体となった教育を進める

自ら学び自ら考える力の育成

豊かな人間性の育成

健康な心と体の育成

1. 基礎基本の徹底

- * 基礎学力定着のための継続的な取り組み
- * 各教科の基礎的・基本的な内容を定着させるための授業改善 《学習規律の確立》

2. コミュニケーションを大切にした学び合いの重視

- * 「聴く・話す・話し合う」指導を計画的に行う

3. 子ども相互の関わりを深める学習形態の工夫

- * 共に聴き合う学級集団づくり
- * 授業のねらいに適した多様な学習形態の工夫

4. 学び方を身につけさせる指導の充実。

- * 資料の収集・活用できる学習技能をつける
- * まとめ方・発表の仕方を習得させる

5. 少人数授業による個に応じた指導の充実

- * ねらいに応じた少人数集団の編成

6. 読書活動の深化

- * 日常の読書活動の推進・・・「朝の読書」



基礎学力の定着(確かな学力)

1. 体験を通した、実践につながる道德教育の推進

- * 「道德の時間」の充実を図る
- * 各教科・特別活動・総合学習との関連を図る

2. 一人ひとりを生かした心の通う生徒指導の推進

- * 生徒指導体制の確立
- * 規律正しく生活する態度を身につける 《学年に応じたルールとマナーの徹底》

- * ふれあいを大切にした心の交流を図る

- * 家庭・地域・関係機関との協力体制を構築する

3. 人権を尊重し、差別をなくす実践力の育成を図る

- * 人権教育の推進
- * 個のニーズに応じた特別支援教育の充実を図る



いじめや差別の根絶



1. 運動の日常化を図る

- * 体育的行事の充実
- * 日常的遊びの奨励

2. 健康・安全指導の充実

- * 「食育の推進」「命の大切さ」の指導を中心に

- * 職員間の連携を密にする
- 3. 「学校保健委員会」を有効に機能させる



自他の生命の尊重



きまりを守り、進んで学習に取り組む子の育成